

各 位

平成 14 年 12 月 3 日

株 式 会 社 大 京  
取 締 役 広 報 部 長 大 越 武

＝ 9 月 末 時 点 の 国 土 交 通 省 発 表 数 字 よ り ＝

**大京の「住宅性能評価書」取得マンション  
設計時は 1 万 5, 998 戸（全国シェア 18.5%）、  
完成時は 5, 832 戸（全国シェア 33.1%）に！**

— 平成 12 年 10 月の制度発足から、今年 9 月末までの丸 2 年間の実績 —

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：長谷川正治）では、平成 12 年 10 月の「住宅性能表示制度」のスタート時点から、業界の先陣を切って、すべての新築マンションで、「設計」と「建設」両方の「住宅性能評価書」の交付を受けてまいりました。

本制度開始から丸 2 年が経過した平成 14 年 9 月末現在におきまして、「設計住宅性能評価書」の交付を受けた当社のマンションは、183 棟、1 万 5, 998 戸（全国累計シェア 18.5%）、同様に「建設住宅性能評価書」の交付を受けたマンションは、77 棟、5, 832 戸（全国累計シェア 33.1%）になりましたので、お知らせします。

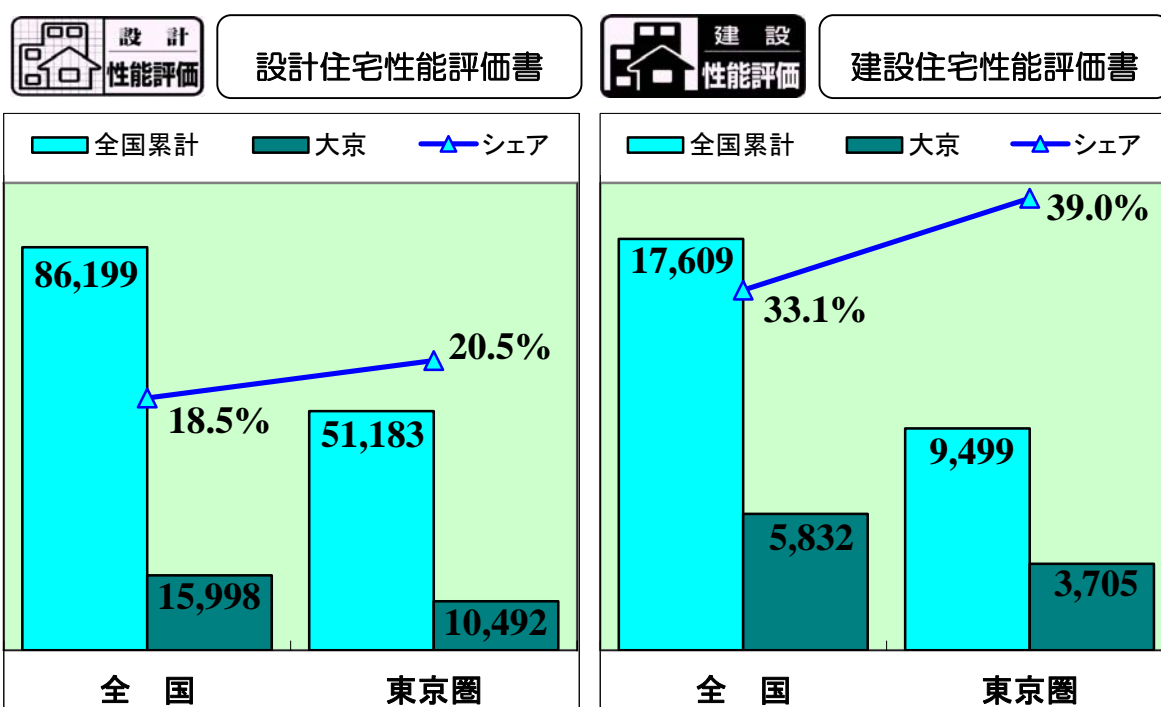
また、全国の「住宅性能評価書」付きマンションの半数以上が集中する東京圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）においては、「設計住宅性能評価書」の交付を受けた当社のマンションは、104 棟、1 万 492 戸（東京圏累計シェア 20.5%）、同様に「建設住宅性能評価書」の交付を受けたマンションは、41 棟、3, 705 戸（東京圏累計シェア 39.0%）となりました。

この実績は、全国、東京圏ともに、住宅・マンション業界ではトップで、それも群を抜いた棟数・戸数となっております。

◆大京の「住宅性能評価書」取得マンションの実績（平成12年10月～平成14年9月）

評価書区分 対象地域	設計住宅性能評価書		建設住宅性能評価書	
	全国	東京圏	全国	東京圏
累計交付数	(1,801棟) 86,199戸	(860棟) 51,183戸	(397棟) 17,609戸	(190棟) 9,499戸
うち 大京取得数	(183棟) 15,998戸	(104棟) 10,492戸	(77棟) 5,832戸	(41棟) 3,705戸
シェア	18.5%	20.5%	33.1%	39.0%

1. 累計交付数は、国土交通省発表の「共同住宅等」の数値
2. 「東京圏」は東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県の一都三県



(単位：戸)

◆当社の「住宅性能表示制度」への取り組み

「住宅性能表示制度」は、平成12年4月に施行された「住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）」に基づき、同年10月から運用が開始された制度です。この制度に基づいて住宅の性能評価を実施するかどうかは、売主側の任意となっております。

大京では、「お客さま第一主義」の実践を経営方針としており、お客さまに、より安心した暮らしを提供していくため、スタート時点から、国（国土交通大臣）が指定した第三者評価機関（ハウスプラス住宅保証株式会社）に委託して、国の基準による客観的評価を受け、すべての新築マンションで「住宅性能評価書」を取得してまいりました。

## ◆「設計」、「建設」の「住宅性能評価書」両方で、業界第1号

設計時に評価を受け、交付される「設計住宅性能評価書」と、工事段階で現場検査を受け、完成時に交付される「建設住宅性能評価書」がありますが、大京のマンションが、いずれの交付においても業界第1号となり、先駆的な役割を果たしました。

「設計住宅性能評価書」では、平成12年10月4日に、同時に申請していた11物件で、業界第1号の交付を受けました。

「建設住宅性能評価書」では、平成13年7月18日に、「設計住宅性能評価書」交付第1号の11物件の1つ、「ライオンズヒルズ横濱寺尾」（神奈川県横浜市鶴見区）において、業界第1号の交付を受けました。

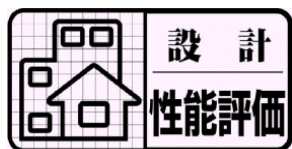
## ◆国が指定した第3者評価機関による「住宅性能評価マンション」

「設計住宅性能評価書」、「建設住宅性能評価書」ともに、評価のタイミングは異なりますが、国が定める共通のルールに基づき、国（国土交通大臣）が指定する第3者評価機関が審査を行いますので、住宅の品質性能を客観的な数値で評価・表示されることになり、他物件との相対的な比較が可能となります。当社の第3者評価機関の委託先は、ハウスプラス住宅保証株式会社（出資：東京電力株式会社、三菱商事株式会社他）で、指定住宅性能評価機関の最大手です。

「建設住宅性能評価書」の取得には、マンションが完成するまでに、基礎配筋工事から竣工検査時までの施工状況に合わせた表示性能に関連する現場検査が、通常4～5回行われ、その全てに合格する必要がありますので、「建設住宅性能評価書」を取得したマンションであれば、設計段階に加え、完成時の現物そのものの性能が、現場検査で客観的に裏付けられ、マンションの品質がより確かなものとなります。

## ◆「住宅性能評価書」取得マンションのお客さまのメリット

「建設住宅性能評価書」を取得したマンションは、①万一、売り主との間で売買契約等に関するトラブルがあっても、弁護士と建築士による住宅専門の「指定住宅紛争処理機関」を低額料金（1案件1万円）で利用できることで、安心がプラスされること、②新築時の性能が信頼性の高い評価書の交付によって表示されているので、「住宅の鑑定書」とも呼ばれており、中古マンション市場での売却時に当たっては、「住宅性能評価書」の交付を受けていない住宅に比べ、きっちりとした中古マンションの資産評価が為され、売却も有利になるといわれていること、③金融機関や保険会社によって取り扱い異なるものの、住宅ローンの金利や地震保険料の割引優遇措置が受けられること、など様々なメリットがあります。



「設計住宅性能評価書」のマーク



「建設住宅性能評価書」のマーク

#### ◆ 「住宅性能評価書」普及のために

大京では、今後も販売するマンションの全てにおいて、「設計住宅性能評価書」と「建設住宅性能評価書」の両方を取得し、お客さまにお渡ししていきます。

これまでに、「品確法」や「住宅性能評価書」をテーマとした、専門家による「品質性能説明会」などのセミナーや各種イベントを開催し、多くのお客さまに「住宅性能評価書」の重要性をご理解いただけるよう努めてまいりましたが、今後も引き続き、「住宅性能表示制度」の普及に努めてまいります。

#### 「住宅性能評価書」をテーマとしたイベントへの動員実績例（平成14年7～9月）

イベント開催回数	総動員数
約80回	1,240組・約2,000名

#### ◆ 株式会社大京の会社概要

- ・ 所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目24番13号
- ・ 代表者：代表取締役社長 長谷川 正治
- ・ 設立：昭和39年12月
- ・ 事業内容：マンション販売事業

以上

— この件に関する問い合わせ先 —  
株式会社大京 広報部（伊奈、奥山） TEL 03-3475-3802